

Action (アクション)

～ できることを あるものを使って 今いるところで はじめよ

「コミュニティ・スクール」ってなんじゃ？

また英語かよ。わしゃあ、よ～わからんで…。



学校支援ボランティアさん

コミュニティ・スクールとは、「**学校運営協議会**」を設置している学校のことです。

学校運営協議会？ これまでの学校評議員会と何が違うの？

何それ？ややこしいわねえ～。



元学校評議員さん

今までの

これからの

『学校評議員制度』

『学校運営協議会制度』

目的

校長が、必要に応じて学校運営に関して、**保護者や地域の方々の意見を聞くこと**

目的

保護者や地域の方々が一定の権限をもって**学校運営に参画**することにより、「目標やビジョン」を共有して、社会総がかりで子どもたちの健全育成や学校運営の改善に取り組むこと

学校

学校評議員

市区町村教育委員会

学校運営協議会

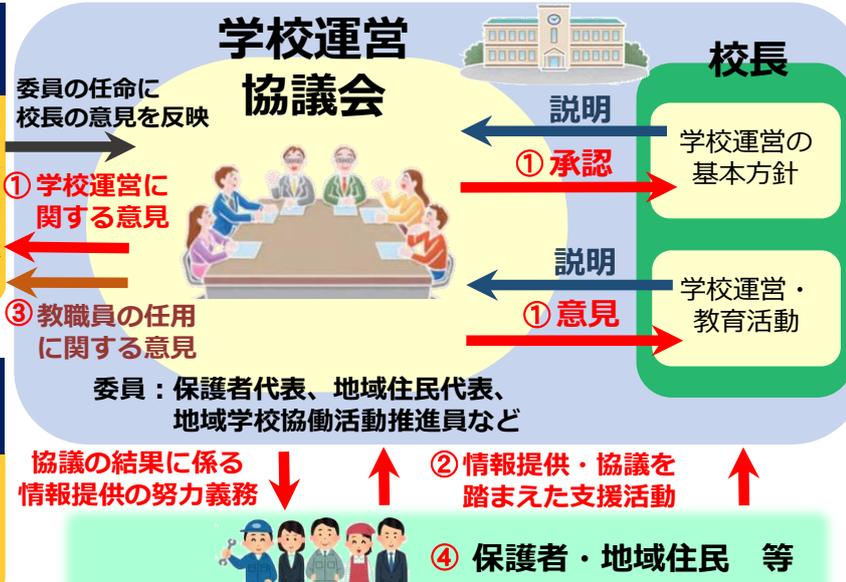
校長

校長の求めに応じて
学校運営に関する意見

市区町村教育委員会
評議員の委嘱
校長の推薦

協議会の設置
委員の任命
協議会の適正な運営を確保する措置

都道府県教育委員会
教職員の任用
(学校運営協議会の意見を尊重)



ここが違う!

学校評議員制度

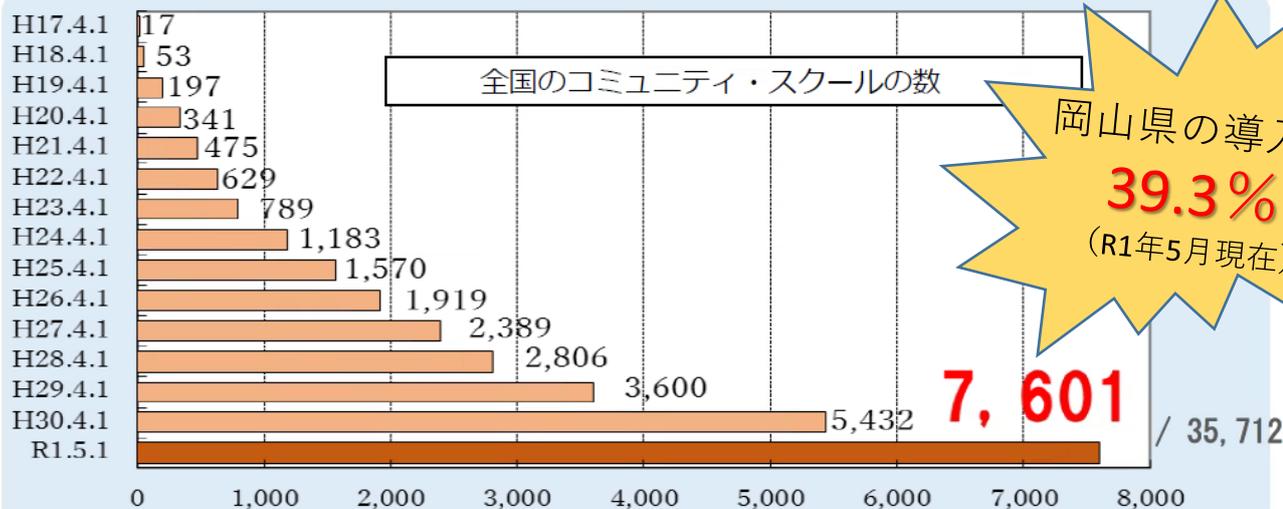
学校運営協議会

活動の継続性	校長の異動に左右される	協議体を設置するため、校長の異動に左右されない (図①)
組織的な活動	想定していない	協議体による組織的な活動への広がり (図②)
役割	校長の運用による	法令等に基づき役割(権限)が明確化 (図①③)
連携・協働	地域は第三者的な関わり	主体的参画による連携・協働が向上 (図④)

「みんなコミスクやってんの？」



全国の公立学校のうち、**21.3%**がコミュニティ・スクールを導入しています
(前年度より2,169校増加)



(出典) 文部科学省コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動実施状況調査 (令和元年5月1日現在)

「導入したらどんないいことがあるの？」

- 保護者・地域住民等も子どもたちへの教育の**当事者**となり、責任感をもって積極的に教育に携わることができるようになります。
- 多様な大人の**専門性や地域の力を活かした学校運営**や教育活動が実現し、**子どもたちに多様な経験**を積ませることができます。
- 学校・家庭・地域の「**適切な役割分担**」により、教職員が**子どもと向き合う時間の確保**につながります。
- 地域の課題解決に向けた取組や大規模災害時の緊急対応等に**学校と地域が一体となって取り組む**ことができます。



【参考】文部科学省「コミュニティ・スクール2018」



H29年3月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が改正され、学校運営協議会の**設置が努力義務**になりました

コミュニティ・スクールは「地域とともにある学校づくり」に有効なツールです

子どもや学校の抱える課題の解決、未来を担う子どもたちの豊かな成長のためには、**社会総掛かりでの教育の実現が不可欠**です。これからの学校は、「開かれた学校」からさらに一歩踏み出し、**地域と一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」**へと転換していくことが重要です。コミュニティ・スクールをその実現に向けた有効なツールと捉え、前向きに導入の準備や活性化に向けて進めていきましょう。